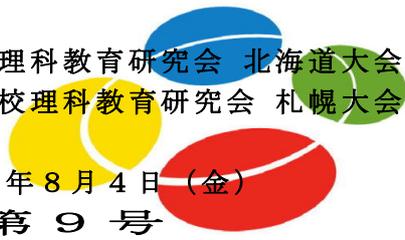


速報

第64回全国中学校理科教育研究会 北海道大会
第56回北海道中学校理科教育研究会 札幌大会

平成29年8月4日(金)

第9号



全体会

「若い理科教師の集い」からの報告

全国の若い教師が集い交流する試みで企画され、1日目に行われたたブース形式による実践交流会、および活気にみちたグループディスカッションの様子について、映像による報告がなされた。

熱意と好奇心にあふれて参加した若い教師により、今後の理科教育の新たな展望と期待が開かれる意味深い取組となった。



分科会報告と研究のまとめ

各担当副部長より、昨日行われた第1～5各分科会における各発表者からの研究発表の概要、および各研究討議により交わされた数々の貴重な提言などについて詳細に報告がなされた。

分科会からの報告を受け、高橋伸充研究部長により、研究のまとめとして総括がなされ、本大会の研究成果が確認された。



学術講演

ヒグマ学習センター主宰・前田菜穂子氏による「ヒグマを育て自然を学ぶ」

40年にわたるヒグマ飼育・観察と自然下の生態調査、アイヌの時代から現代の人とヒグマとのかかわり、自然に対する理解の歴史的変遷など、前田氏のヒグマ研究を通じた豊富な経験と知識に基づいた話題が次々と提供された。

北海道特有の海と森林の豊かな自然母体に成り立つ、ヒグマの生態を通じた自然循環への理解の重要性等、本大会主題やこれからの理科教育の視点「自然と人間の調和」・「持続可能な社会」・「未来を創造する力を育む理科教育」にせまる話題であった。

持続可能な社会を担う子どもたちには、自然の中での直接体験により自然を正しく教えていくことなど、これから求められる理科教育を考える上で、これからの自然教育のありかたを示唆する貴重なご講演を賜った。



閉会式

閉会式に先立ち、有馬朗人氏より、シンガポールマレーシア視察の報告とあわせ、日本の小中学生の教育に対する期待についてお話をいただいた。



全国発信に向け大会宣言が採択されたのち、大会新会長（次期全国中学校理科教育研究会会長）山谷安雄氏より、今大会3日間の振り返りと文部科学省講演、各研究発表、学術講演への謝辞とともに、研究主題「自然と人間の調和をめざし、未来を創造する力を育む理科教育」の面から新学習指導要領の趣旨を踏まえ、話し合いによる深い学びについて、さらに今後の全国中学校理科教育研究の展望についてお話をいただいた。



次期全国中学校理科教育研究会運営委員長 中野貴氏と事務局長 会について、研究主題・大会主題とともに兵庫大会開催（第65回全国中学校理科教育研究会・第7回近畿中学校理科教育研究会・第53回兵庫県中学校理科教育研究会）について映像を交えて詳細にご紹介がなされた。

最後に本大会運営委員長（北海道中学校理科教育研究会会長）本間玲より、関係者、大会参加者への謝辞とともに、新しい理科教育への期待と、理科のおもしろさを伝える理科教育の原点についてお話をいただき大会が締めくくられた。

有道俊雄氏より、兵庫大



3日間で500名を超える方々にご参加いただき
無事本大会全日程を終了することができました。
ご参会の皆様、まことにありがとうございました。